

FREAK ラウンドスリング 取扱説明書

取説 No: CERS-IM

この度は弊社商品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
 ※ご使用前にこの取扱説明書を十分に読みの上、正しい取扱方法によりご愛顧下さいようお願い申し上げます。
 ※この取扱説明書は大切に保管頂き、ご使用前に再度ご確認ください。
 ※この取扱説明書ではラウンドスリングの使用基準事項を「危険」「注意」の2つに区分しています。表示の意味は下記の通りです。

危険 取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が死亡、または重症を負うことになる場合

注意 取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が怪我を負う恐れのあるもの、または製品等の物的損傷を招くことになる場合

※なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な事故につながる可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

ラウンドスリングの使用基準

危険

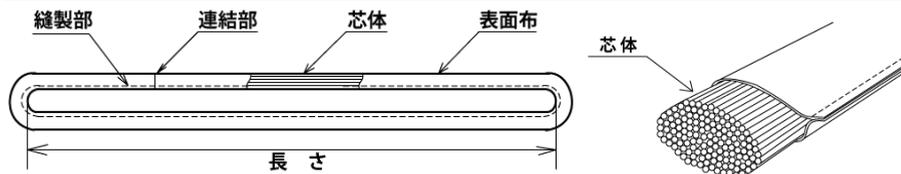
- 必ず使用荷重以下の余裕のあるものを使用し、荷の重量を確認して、適切な幅・吊り方及び吊り角度を選定してください。
- クレーン作業及び玉掛け作業は労働安全衛生法に定められた有資格者が行ってください。
- 最大使用荷重を超えて荷を吊らないでください。同じ製品でも荷の吊り方により最大使用荷重が異なります。余裕のある荷重で作業してください。
- 本製品は化学薬品用ではありません。化学薬品（酸、アルカリなど）に触れる中では使用しないでください。
- 100℃以上の高温、-30℃以下の低温の環境では使用できません。また、50℃～100℃未満の環境で使用する場合は、最大能力を50%軽減して使用してください。
- 取扱説明書及び注意事項の内容を熟知しない人は作業しないでください。
- 本製品は消耗品です。作業環境により使用期間を定めてください。
- 作業者は必ず点検を実施してから作業を始めてください。その上で、改造、亀裂、変形、摩耗等の異常や損傷が確認できるラウンドスリングは絶対に使用しないでください。
- 点検の結果、廃棄することになったラウンドスリングは補修したり、使用荷重を減らすなどして使用しないでください。
- 本製品を誤った作業方法で使用しないでください。
- 水や油が付着すると滑りやすくなります。よく拭き取ってから使用してください。
- 吊り角度は出来るだけ60度以内にしてください。また、120度を超えて使用しないでください。
- 必ず荷の重心位置を確認し、必要に応じてラウンドスリングの掛け位置を調節するなどして、バランスよく吊り上げてください。
- チョーク吊りをする場合には、十分に深絞りをしてご使用ください。
- 角張った荷には必ずコーナーパッドなどの当てものを使用し、横滑りさせないように注意してください。
- 他の吊り具または補助具と組み合わせる使用のときは、連結部分でラウンドスリングが損傷することのないよう注意してください。
- 他社ラウンドスリング及び材質の異なるラウンドスリングの組み合わせは、バランスが崩れ大変危険ですので使用しないでください。
- 目通し一本吊りでの縦吊り作業など、荷とベルトの摩擦のみで支えるような作業はしないでください。
- 荷を吊ったままで、長時間放置しないでください。
- ねじれた状態で長時間放置したり、エッジ状のもので加圧した状態で放置しないでください。
- 極端なねじれ、結びまたはお互いに引っ掛けた状態で使用しないでください。
- ラウンドスリングに急激な荷重がかかるようなクレーン操作はしないでください。
- ラウンドスリングを荷の下から引き抜く際は損傷しないよう注意してください。また、クレーンで引き抜かないでください。
- ラウンドスリングを持ち運ぶ際は、地面や床などを引きずったり、高所から落下させたり、放り投げたりしないでください。
- 吊り荷の下や、吊り荷の動く範囲に入らないでください。また、人の頭上を越えて荷を運搬しないでください。
- ラウンドスリングは、雨、湿気、熱、直射日光、薬品などの影響を受けない場所に保管してください。
- それぞれの製品に管理ナンバーを記入し、台帳などで使用開始年月日や使用頻度を管理してください。

注意

- ラウンドスリングは使用条件や保管条件などによって、寸法変化することがあります。
- 作業開始前の日常点検及び定期点検を必ず実施してください。（クレーン等安全規則第218条、220条）
- 作業を行う場合、周りに障害物がないか確認し整理したのち、安全な作業環境で作業をしてください。
- 作業開始時には、周りの人に作業開始を知らせてください。

ラウンドスリングの点検・廃棄基準

- ラウンドスリングは、日常点検（※1）及び定期点検（※2）を行って使用してください。
- 注）※1 使用前に行う点検のことです。
- ※2 定期的に行う点検で、使用頻度により異なりますが、通常1ヶ月ごとに行ってください。
- 点検項目、点検方法及び廃棄基準は、次の表を参考にしてください。

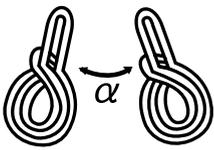
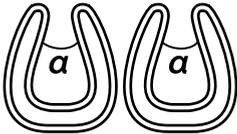


点検及び廃棄基準表

点検項目	点検の種類		点検方法	廃棄基準	
	日常点検	定期点検			
表面布	○	○	目視		本体部などの表面布が損傷し、芯体が確認できるもの
縫製部	○	○	目視		縫製部の縫糸がほつれて、芯体が確認できるもの
その他の外観異常	○	○	目視		本体部などの表面布に摩擦による著しい毛羽立ちが認められるもの、または本体部などの表面布に、熱や薬品などによる変色、着色、溶融、溶解、腐食などの異常が認められるもの
	○	○	目視		汚れが著しいため、使用可否の判定ができないもの
芯体の異常	○	○	感触		芯体が部分的に硬くなって、太さの不均一さが目立つもの
使用期間	—	○	管理台帳 ・表示などの確認		ラウンドスリングの使用状況によって、外観に損傷及び異常がなくても、次の使用期間を超えるもの <ul style="list-style-type: none"> 屋内での使用：使用開始後7年経過したもの 屋外での使用：使用開始後3年経過したもの

※ラウンドスリングを使用して重い荷を移動する際は常に危険な状態となります。本取扱説明書記載以外の使用や、日常点検や定期点検をせずに使用すると危険の割合が高くなります。ラウンドスリングを管理する責任者を決めて、作業基準、点検基準を遵守して正しく使用してください。

吊り角度と使用荷重表

吊り方	ストレート	目通し吊 (チョーク吊り)					2点吊				4点吊			
														
吊り角度	—	—	$\alpha \leq 0^\circ$	$\alpha \leq 45^\circ$	$45^\circ < \alpha \leq 90^\circ$	$90^\circ < \alpha \leq 120^\circ$	$\alpha \leq 0^\circ$	$\alpha \leq 45^\circ$	$45^\circ < \alpha \leq 90^\circ$	$90^\circ < \alpha \leq 120^\circ$	$\alpha \leq 0^\circ$	$\alpha \leq 45^\circ$	$45^\circ < \alpha \leq 90^\circ$	$90^\circ < \alpha \leq 120^\circ$
モード係数	1(基本)	0.8	1.6	1.4	1.1	0.8	2	1.8	1.4	1	4	3.6	2.8	2
50mm幅	1,000kg	800kg	1,600kg	1,400kg	1,100kg	800kg	2,000kg	1,800kg	1,400kg	1,000kg	4,000kg	3,600kg	2,800kg	2,000kg
60mm幅	3,000kg	2,400kg	4,800kg	4,200kg	3,300kg	2,400kg	6,000kg	5,400kg	4,200kg	3,000kg	12,000kg	10,800kg	8,400kg	6,000kg
70mm幅	5,000kg	4,000kg	8,000kg	7,000kg	5,500kg	4,000kg	10,000kg	9,000kg	7,000kg	5,000kg	20,000kg	18,000kg	14,000kg	10,000kg

※荷の吊り方、吊り角度によって使用荷重は変化します。上の表を参考に使用するサイズ等を決定してください。

※上の表に記載されている使用荷重を超えて荷を吊らないでください。

※吊り角度は出来るだけ60度以内にしてください。また、120度を超えて使用しないでください。

ラウンドスリングの管理の仕方

ラウンドスリングは誤った使い方や日常点検や定期点検を怠ると危険が生じ、重大な事故につながります。正しい使用と正しい管理が安全を守るポイントです。

- 管理責任者を決め、作業には教育による作業基準の徹底を図る。
- 職場に適した作業基準や点検基準を決める。
- 日常点検は毎回使用前に、定期点検は通常1ヶ月に1回を目安に行う。
(使用環境などにより期間を縮める)
- ラウンドスリングそれぞれに管理番号を決め、台帳で管理する。
- ラウンドスリングは消耗品です。作業環境により一定の使用期限を定め、廃却・新品との交換を行う。

輸入総販売元 **株式会社フリーク** 〒599-8253 大阪府堺市中区深阪6丁2番28号

MADE IN CHINA